



IP TCP MSS の設定

- [IP TCP MSS について \(1 ページ\)](#)
- [IP TCP MSS のデフォルト設定 \(1 ページ\)](#)
- [IP TCP MSS の注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [IP TCP MSS の設定 \(2 ページ\)](#)
- [IP TCP MSS の確認 \(4 ページ\)](#)

IP TCP MSS について

IP TCP 最大セグメントサイズ (MSS) 機能を使用すると、スイッチは Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチで発信または終端するすべての TCP 接続の最大セグメントサイズを設定できます。TCP ヘッダーフィールドの MSS は、ホストが単一のセグメントで送受信できる最大データサイズまたはペイロードです。デフォルトでは、Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチは、IPv4 TCP 接続の場合は 536 バイト、IPv6 TCP 接続の場合は 1240 バイトに設定します。このデフォルト値は、最初の TCP 接続の確立時にスイッチによって設定されます。

TCP 接続の発信元であるスイッチは、MSS を常にユーザ設定の MSS に設定するか、またはルートインターフェイス MTU とプロトコルヘッダーの差のいずれか小さい方に設定します。したがって、ホスト A は 1460 バイトの提案された MSS を持つ SYN パケットをホスト B に送信します。提案された MSS を持つ SYN パケットを受信した後、ホスト B はホスト A に SYN-ACK パケットを送信し、TCP 接続の提案された MSS 値を受け入れます。ホスト A はホスト B に ACK パケットを送信し、TCP 接続の MSS 値を 1460 に設定します。

IP TCP MSS のデフォルト設定

表 1: IP TCP MSS のデフォルト設定

パラメータ	デフォルト設定
IP TCP MSS	IPv4 TCP 接続の場合は 536 バイト IPv6 TCP 接続の場合は 1240 バイト

IP TCP MSS の注意事項と制約事項

IPv4 TCP 接続で MSS を 1460 バイトを超える値に設定する必要がある場合、対応する MTU 値は、必要な MSS 値に 40 バイトを加えた値に設定する必要があります。IPv6 TCP 接続で MSS を 1440 バイトを超える値に設定する必要がある場合、対応する MTU 値は、必要な MSS 値に 60 バイトを加えた値に設定する必要があります。

IP TCP MSS の設定

[TCP 接続の MSS の設定 \(2 ページ\)](#)

[設定済み IP TCP MSS の削除 \(3 ページ\)](#)

TCP 接続の MSS の設定

始める前に

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# **ip tcp mss** <bytes>
3. switch# **show ip tcp mss**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# ip tcp mss <bytes>	最大セグメント サイズを設定します。
ステップ 3	switch# show ip tcp mss	設定された IP TCP MSS を表示します。

例: 実行コンフィギュレーション

例

この例では、実行コンフィギュレーションと、設定された IP TCP MSS を表示する確認コマンドを示します。

```
configure terminal
ip tcp mss 5000
Setting TCP MSS to 5000 bytes
```

```
switch# show ip tcp mss
TCP MSS value 5000 bytes
```

設定済み IP TCP MSS の削除

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# **no ip tcp mss**
3. switch# **show ip tcp mss**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# no ip tcp mss	設定された IP TCP MSS を削除し、IP TCP MSS をデフォルト値に設定します。
ステップ 3	switch# show ip tcp mss	設定された IP TCP MSS を表示します。

例: 実行コンフィギュレーション

例

この例では、実行コンフィギュレーションと、設定された IP TCP MSS を表示する確認コマンドを示します。

```
configure terminal
no ip tcp mss 5000
Setting default MSS value is 536 bytes
```

```
switch# show ip tcp mss
TCP MSS value 536 bytes
```

例 : TCP 接続の MSS の設定

次に、TCP 接続の MSS を設定する例を示します。

```
configure terminal
ip tcp mss 2000
```

例 : 設定済み IP TCP MSS の削除

次に、MSS を削除する例を示します。

```
configure terminal  
no ip tcp mss
```

IP TCP MSS の確認

表 2: IP TCP MSS の確認

コマンド	目的
<code>show ip tcp mss</code>	設定されている IP TCP MSS を表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。